

黒ねこの零くん

吉永小学校三年 藤原悠稀

ギユツとまるまる

びろんとのびる

グーとねる

バーンとドアをあける

ダダーツとはしる

ぴよーんととぶ

にやーとなく

がつがつたべる

となりのえきもたべる

そして1日がおわる

名 前

備前中学校三年 岩 端 咲

名前って何かなあ？

お父さんとお母さんからの初めてのプレゼント。

名前って何かなあ？

あなたがあなたでいれるようにあるの。

名前って何かなあ？

もしあなたが悲しみに暮れて涙がこぼれても、寂しさが溢れて心がしぼんでもあなたがあなたでいられるようにあるの。

名前って何かなあ？

私達は、一緒に空間にいて同じことをしていても別々に歩いてる。そんな私達が笑えるようにあるの。

名前って何かなあ？

この先、まぶしいくらいの未来が待っていても、あなたが笑えるように。長く暗い道も歩いていけるようにあるの。

「いなくてもいいか。」なんて言わないで？

すごく悲しくたって歩いてゆけるように、名前があるから。

そうだね。

何度もくり返し、呼ばれたり、書いたりした名前。私が私でいる証。

だから、もしあなたが悲しみに暮れて涙をこぼさないように、寂しさに溢れて心がしぼまないように。

名前を呼ぶよ。

私の名前を呼んでくれたみたい。

いのち

和氣町和氣 近馬 秀嘉

とても たいせつだったきみは
ここに どこからきたのではなく
ここで つくられたのです
おかあさんが
うれしさに めをかがやかせながら
いっぱい ごはんをたべて
おなかのなかで
すこしずつ すこしずつ
つくったのです

とても たいせつだったきみは
どこかへ かえったのではなく
ここで ほどけてしまったのです
たくさんの けむりと はいになつて
すこしの ほねを のこして

だから また どこかで
むしや けものや さかなたちが
いっしょうけんめい きみをたべて
おなかのなかで つくるでしょう

うれしく うれしく
いのちを つなぐ

こどもたちを

第四回備前市文学賞 短歌 入選作品

【中学生の部】

日生中学校三年 大村 きらり

夏祭り打ち上げ花火きれいだな終わった時は寂しい気持ち

【一般の部】

備前市蕃山 青山 幸子

この先に幾度夫と花愛でる日のあらんやと花惜しみたり

穫れ立ての新米むすび握る時農絶やさじと夫と誓いぬ

露味噌のほろ苦き味えも言えず舌に留めて春確かむる

第四回備前市文学賞 俳句 入選作品

【小学生の部】

日生東小学校五年 三井陽菜

海を見て心の中はまつ青だ

【中学生の部】

伊里中学校三年 小森亮馬

ホームランとんだ先には虹光る

冬の街輝く夜空君のよう

【一般の部】

備前市日生町寒河 古松喜美子

過疎の村唯一本の幟立つ

夫の忌に友より届く花菖蒲

はにかえて明るくなりし秋の暮

第四回備前市文学賞 川柳 入選作品

【小学生の部】

日生東小学校五年 川 平和 佳

台風のおこった声と雨の声

【中学生の部】

日生中学校三年 別 府 美以夏

夏休み宿題多いとうなだれる

【一般の部】

夫

備前市西片上 吉 村 嘉

平凡に生きた茶碗が二つある

見舞客やさしい嘘を置いてゆき

ほめられて庭の鉢植一つ減り